



職場体験学習レポート

令和5年6月21日、22日

参加者:千葉市立都賀中学校2学年 3名

① 電線共同溝見学

【生徒より】



今日見学した共同溝では地下で水道管を整備して、電気は日常生活でよく使われているテレビにも使われていて、共同溝に入るとどのようにセンサーがついていて守っていることがわかりました。さらに水が上へこないようにポンプで止めていることがわかりました。この共同溝整備するのはとても大変であるけれども2時間ばかりかかるとのことでした。

共同溝の中には、たまたまの自分たちが使っている種類の電線のようなものがあって、それが何10kmも系統っていて、それを機械を使ってさまざまな方法で地中を掘っていることに驚いた。

② 関東技術事務所展示館



今日見学した関東技術事務所では、台風や地震がおきた際にハザードマップを使って逃げたルートを確認をしながらいることがわかりました。またドローンや3D映像などで情報を入れていることがわかりました。貴重な体験をさせてもらってとても楽しんでまた来たいと思いました。



災害時では、対策本部車、排水ポンプ車、バクホフ、即明車などが、バックホフでは、いすゞ マチエッセ があり、その時に使っている。現場での二次災害を防ぐため、無音では、排水ポンプ車、そして、カメラで現場の確認をして、二次災害を防いでいる。ドローンが、とても大事。